

学校評価（保護者アンケート）を考える

校長 高橋 馨

各校で行われている学校評価ですが、その根拠は平成13年から全都立学校に設置されている学校運営連絡協議会の制度にあります。これは、東京都教育委員会が教育活動の質的向上を支援する目的で、「保護者や地域の方々の意見を、学校運営や教育内容に反映させていく継続的な取組が必要である」との考えに基づき設置された組織です。そして、この学校運営連絡協議会の具体的な役割のひとつが、「学校運営、教育活動、地域との連携等について改善を図るため、地域・保護者・生徒などにアンケート（意見聴取）を実施する」という学校評価になります。このような目的で、各校は学校の特徴や実態に合わせ工夫を凝らしながら、また定期的に開催される学校運営連絡協議会の場での意見交換を図りながら、学校評価を行っています。

ところで、この学校評価のアンケート内容かというと、多くの学校が経年変化の把握に縛られ同じ設問を継続するなど、変わりにくい傾向があります。また、数年前からのICT環境の充実や校務のDXにより評価アンケートの電子化が進みましたが、その実情はというと媒体が紙から電子に代わっただけで、質問の仕方や評価の方法は変わっていない、ということも少なくないように感じます。勿論、継続しなければならない大事な事項はあります。しかしながら、ますます変化が激しくなると言われる今の時代、学校がその変化に対応できるよう必要な情報を得る為には、設問内容を含め評価自体も変化していかなければならないはずです。

本校は、保護者の意見をより反映しやすい、評価結果を改善につなげやすい学校評価を目指すこととし、保護者アンケートを変更する方向で準備を進めています。具体的には、肯定的か否定的か「良い・悪い」の微妙な判断が読み取れるよう10段階での評価を考えています。さらに、簡単により多くの取り組みについて課題点の把握や改善のポイントを共有できるよう、設問の仕方も検討しています。保護者アンケートは、10月の授業参観に合わせての実施を予定しております。本校の新たな取り組みへの「挑戦」を御理解いただき、学校評価への御協力をお願いいたします。

カジュアルデーについて

昨年度に引き続き、今年度も生徒提案から実施が計画され、学校としても将来通勤・通所する際にTPOを考え服装を選ぶことは大事なことと考え実施しました。本取り組みを通して、生徒の主體的な判断力を育み、多様性を尊重するきっかけになることを期待しています。保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。（三上 宗佑）



チルチルミチル！大盛況！

八丈分教室

9月7日、8日に開催された八高祭（文化祭）でチルチルミチル（カフェ）の営業を行い、分教室のオリジナルドリンクやシマカラ（七味唐辛子）、本校の生徒が作ったお菓子（大人気）の販売を行いました。2日間で300名近くのお客様にご来店いただき、大盛況で幕を閉じました。



さらに！来場者投票の結果、分教室が展示部門で銀賞（2位）を獲得！生徒たちの頑張りが目に見える形となりました。（大沼 匡平）